



発行：山形県舟形町議会
平成23年1月28日



新春の書き初め（長沢小学校）

年頭のあいさつ	2 P
10月、11月、臨時会 12月定例会概要	3 P
議案審議、一般質問のゆくえ	4～5 P
中学生議会	6～7 P
一般質問に4議員	8～11 P
委員会活動、声、請願・陳情、意見書、人事案件	12～15 P
えがったなあ・編集後記	16 P



「飛躍」の年に期待して



町議会議長 信夫 正雄

あけましておめでとございます。

昨年の夏の記録的な猛暑は農作物に大きな影響を与え、特に稲作農家には収量の減少や品質の低下、消費者には野菜の高騰へとつながり、双方とも痛みを受けました。

国会においては、参議院選挙後、衆参の「ねじれ国会」となっておりますが、国民本位の立場に立ち、一刻も早く課題解決に向けての取り組みを望みます。

今年「卯年」。少しでも明るい話題の多い「飛躍」の年にしたいものです。町議会は昨年3月に、議会、議員活動をご理解いただきたく、町議会初となる「議会報告会」を行い、多くの町民の皆さまから議会や行政に対し、貴重なご意見を頂きました。また、地方自治と議会の役割を知ってもらうため11月に開催した「中学生議会」は、NHKで放送され、今後も授業の一環として継続したいとのご希望をいただきました。

今後も町民の皆さまの声を真摯に受け止め、行政に対し積極的に政策提言を行うことができるよう、議員一同、より見識を深め努力していきたいと思っております。

最後に、日頃から議会に對しましてご理解とご協力を頂いております町民の皆さまに深く感謝を申し上げますと共に、ご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶といたします。

議長	信夫 正雄
副議長	八鍬 太
議員	佐藤 勝
	森 晃
	叶内 太一
	叶内 富夫
	野尻 益夫
	大場 清之
	加藤 憲彦
	沼澤 正則

事務局長	松田 清司
主任	大場 由美子

第2回臨時会 10月5日
第3回臨時会 11月26日
第4回定例会 12月7日～9日

防災対策事業

町道一の関若あゆ大平線1億20万円
町道舟形太郎野線1億20万円

12月定例会は、7日から9日までの会期で開催され、4人の一般質問に続き、一般会計・特別会計の補正予算等、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。また、TPP交渉参加反対、米価下落等に対する対策措置を求める意見書を議決し、政府関係機関に提出しました。

公共施設建築基金積立金

学校の整備に向けて1億円積立

商工振興総務費事業

プレミアム商品券 410万円

役場庁舎耐震診断

309万円 年度内に結果集約

12月補正予算額

会計名	補正額	予算総額
◎一般会計	3億3,660万円	38億4,310万円
◎特別会計		
国民健康保険	1,700万円	6億6,770万円
介護保険	240万円	6億7,386万円
公共下水道	300万円	1億7,660万円

主な付議事件

- 臨時会 10月5日
 - 一般会計補正予算
- 臨時会 11月26日
 - 特別職、一般職給与に関する条例の一部改正
- 12月定例会
 - 一般会計・特別会計補正予算
 - 教育振興就学資金貸付基金条例の一部改正
 - 農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部改正
 - 過疎地域自立促進推進特別事業基金条例の設定

質 答 応 疑

臨時会

●平成22年度一般会計補正予算

議員 子宮類がん予防のワクチン接種について、年度の当初予算ではなく、前倒しできないか。 23

町民課長 23年度は国の補助事業になる動きもあり、対象となる生徒や保護者の方へ、疾病やワクチン接種について十分な説明機会を設け、よく理解された上での接種を検討していますので、23年度の当初予算に計上したい考えです。

議員 西堀地区の消防体制はどうなっているのか。

総務課長 関係者のみなさんの協力を得て西堀地区に消防団を設置したいと話を進めています。

振興課長 ひだまりタウンの山手側の山林をもとめるものです。そのために代替地として新たに約3,000㎡の土地を購入し交換するものです。補償費として山林単価1㎡190円で57万8千円、立木補償は、1本当たり6千円で320本、200万円として積算していますが、今後、立木の本数や樹齢などを調査し進めていきます。

議員 ひだまりタウンの山手側の環境整備事業で代替地の立木・土地の評価積算は適正なのか。

定例会

●平成22年度一般会計補正予算

議員 役場庁舎の耐震化診断に、309万円計上しているが、この金額で診断ができるのか。また、一億円の公共施設建築基金積立金を計上しているが何に使う基金か。

総務課長 昭和43年当時の図面等が保管されており、この金額でできると思います。

まちづくり課長 学校整備や公共施設等の老朽化にともなう建築資金で、現在まで8千100万円の積立金があります。



役場庁舎

議員 町道一の関若あゆ大平線の法面防災対策事業の1億20万円の工事内容は。

振興課長 若あゆ温泉から大平方面へ向かって、トンネルの先約300mで両側が崩壊し、これから災害が起きる可能性がある箇所です。この事業は、現在崩壊しているところに該当するので事業を要望しました。今後、測量設計を行い、来年度の着工を考えています。



一の関若あゆ大平線崩壊現場

議員 B&G海洋センターの網戸や窓などの修繕計画はないのか。職員配置の説明を。

教育次長 修繕を必要とする箇所があれば、来年度の当初予算で対応を考えたい。職員が2人、駅伝関係の強化選手1人、緊急雇用で株式会社振興公社から派遣になってB&G財団のアドバンス・インストラクターの資格を取得する職員が2人います。緊急雇用は、1年限りの雇用形態なので、上司と相談しながら今後の予算や人事配置で考えていきます。



議員 介護保険の日常生活圏域ニーズ調査事業の編集業務委託料の内容は。

町民課長 平成23年度に、24年度から26年度までの第5期の介護保険計画を策定するに際して、65歳以上の方を対象に調査し、日常生活の分析を行い、元気高齢者、二次予防事業対象者、要支援、要介護など、自立度を地域ごとに把握することで、今後どのように介護事業を行っていくべきかのデータを集約し、計画に反映させていく考えです。



B&G海洋センター



ひだまりタウン

第1回 中学生議会



町長あいさつ

開催にあたり、ご尽力されました、舟形町議会議員の皆さん、ご指導にあられました先生方に心から感謝申し上げます。この中学生議会を通して、皆さんが住む舟形町への理解と関心が少しでも深まるきっかけとなりましたら大変嬉しく思います。3年生52人の皆さんは、これからの長い人生自分の目標に向かって信頼を積み重ねる努力と、報恩感謝の気持ちを忘れず、心の広い誰からも期待される人間像を目指して、思う存分活躍されますことをご祈念申し上げます。



議長あいさつ

皆様のご協力によりまして、舟形町第1回中学生議会が開催できましたことを厚くお礼申し上げます。舟形中学校に開催をお願いする際「先生方や生徒の皆さんに、大きな負担となるのではないかと心配しましたが、イベントではなく、授業の一環として取り組みたい」との力強い返事をいただきました。授業の提言は、舟形町をより良い町にしていこうという意気込みを強く感じました。今回の中学生議会が、明日の舟形町をみんなで考える契機となることを念願しています。

平成22年11月8日舟形町第1回中学生議会が舟形町役場議場にて開催されました。中学生の意見をまちづくりに反映する場として、また、地方自治と町議会の果たす役割を学び、この体験を通じてまちづくりに参加する楽しさを知ってもらおうと開催したものです。参加者は舟形中学校の3年生52人と町長はじめ町関係者。11人の代表者が議員となり、立派にそれぞれの役割を果たしてくれました。



舟形町第1回中学生議会議員名簿

議席	氏名	備考
1	磯谷 悠斗	
2	高橋 駿太	
3	治部 美里	
4	設楽 由布	
5	大場 麻有	
6	小関 修人	
7	伊藤 紘樹	
8	山本 佳奈	
9	曾根田 唯	
10	田中 真奈美	副議長
11	小庄司 滉	議長



政策提言1
「歩道や街灯を整備し安心安全な町づくりを」
「提案理由」
歩行者や自転車に乗る人の交通安全を確保するため、「歩道や街灯を整備し安心安全な町づくりを」図るため、「政策提言」するものである。

政策提言2
「インターネット・個人用スペースのある独立した大型図書館の設置を」
「提案理由」
勉強や話し合いなど、小学生や中学生、高校生が気軽に利用できる「インターネット・個人用スペースのある独立した大型図書館の設置」により、教育の充実したまちづくりを図るため提案するものである。

曾根田 唯 議員
質問…子育て支援住宅によって、町の人口は増加したのか。
町長…「子育てするなら舟形町で」を合言葉に近隣市町村に負けない子育て環境をつくっています。子育て支援住宅ハイムひだまりに35人、定住モデル住宅2棟に9人、合わせて44人が舟形町の新たな住民になっています。

山本 佳奈 議員
質問…プレミアム商品券の発行目的、経済効果は？
町長…町内の商工業者の活性化を図ることを目的に、もがみ南部商工会が実施している事業に対し、町が助成しています。幅広い事業所での使用実績があり、経済効果としてはあると考えています。

小関 修人 議員
質問…お年寄りの健康維持や世代を越えた交流は？
町長…いつまでも元気でいたくために老人クラブ活動への支援や寝たきりにならないように、輪投げ大会や介護予防・認知症予防教室などを各町内で開催しています。また、長沢子ども遊々塾、ほほえみ保育園と町老人クラブ連合会の方々とミニ運動会などで世代を越えた交流事業を行っています。

大場 麻有 議員
質問…八頭身美人土偶のトロフィーは何に使われ、それを作成する経費はどこからきているのか？
町長…ふながた地域ブランドとして商品化できるトロフィーやクリスタルオブジンド、キーホルダーをつくりました。特産物としてPRしていきます。開発費約38万円の経費の内、2/3を町が助成し、残りの1/3を商工会が負担するという配分になっています。

高橋 駿太 議員
質問…小学校の統合についてどのように進んでいるのか？
町長…意見交換会を開催し、小学校統合の方針を説明しました。その結果、統合目標年次を25年度と定め、再度説明会を開くことを決定しました。跡地利用方法などについては、地域の皆さんと検討していきます。

磯谷 悠斗 議員
質問…火災報知器の設置促進に助成を？
町長…個人の財産である住宅を火災から守るのは、個人の責務ではないかと思えます。火災警報器につきましても、種類や形態、機能も多種多様にありますので、各世帯の責任で、各家庭に適合した火災警報器を早めに設置してほしいと思えます。





大場 清之 議員

小学校統合後の跡地利用は

最上広域で連携・県とも協議

【質問】 小学校統合を教育委員会では平成25年にしたいと考えているようですが、統合後の跡地利用は地域の活性化のためにも、重要な課題だと考えます。そのような観点から町として地域の要望を聞きながら早急に対策を考える必要があると思いますが町としての考え方は。

また、舟形町では福祉に携わっている方は260人もおり、ますます重要な職業だと考えます。そのような観点から小学校跡地に山形大学の福祉学部等の増設を要望するなど、町長は地元県議と共に山大の学長と話し合いをして、ぜひ舟形町に学部の増設を要望してはいいかが。

【町長】 教育委員会で実施した、「小学校の教育環境を考える教育懇談会」の結果を踏まえ、今後の小学校統合の方針についての検討を行いました。その結果は、①町内4小学校を統合し、1小学校とする。②新生の小学校校舎は、現、舟形小学校校舎を使用する。③校名、

校章、校歌は新たに制定する。④今年中に「平成25年4月1日を統合目標年次」とすることを、教育委員会で議決すると確認しました。今後、小学校統合に向けて、準備委員会的なものを組織し、統合小学校として機能していくように、ハード、ソフト面にわたる多くの検討を委員の皆さんや町民の皆さんと行いたいと考えています。

【町長】 米をめぐる情勢は、大変厳しい状況となっております。こうした中で、今年から米の戸別所得補償モデル対策がスタートし、11月10日に「定額部分」、10アールあたり15,000円が水田利用交付金とともに交付されました。所得補償は、米価が下落したときに補てんする制度で、国の農政の基本となっております。今後、補償や補てんが見込まれますので、ご質問の「販売農家への助成」については他の市町村と同じように考えていません。



長沢小学校校舎

【質問】 今年の米価の買入額が昨年より1俵3,300円も安くなり、稲作農家にとっては、死活問題でもあり、国の所得補償で10アール当たり1万8,000円の所得減になり、生活がますます苦しくなっています。

水稲の販売農家に補助金を

また、小学校跡地に福祉学部の増設要望をこのことですが、最上広域で連携を図ったり、県とも協議をしなければならず、なかなか難しい問題ですが、いろいろな面から総合的に検討してみたいと思います。



沼澤 正則 議員

ルネッサンス・舟形町

スクラップアンドビルドを基本に



さらなる整備を（猿羽根山・羽州街道）

【質問】 今、インターネットにより情報が世界を駆け巡る時代です。舟形町にいらした方の情報発信で、また、いらっしゃる方が増えるというサイクルをつむぐには、舟形駅や猿羽根山周辺など早急な環境整備が必要です。ルネッサンス・舟形町

を合言葉に、交流人口を増やす方策として、次のことを提案します。
①舟形駅に新しい観光マップの設置
②舟形駅内の展示物の検討
③沖の原インターに観光マップの設置
④猿羽根山の環境整備
⑤縄文の女神土偶成人祭の企画。

【町長】 ①観光マップは、もがみ南部商工会に委託し、年度末までできる予定です。新たな観光看板の設置については、観光商品等の開発を行っており、それらを掲示する必要があるので、県の条例をクリアしなければならず、大きな看板の設置はできませんが、場所、見やすさ、経済効果などを見極め、進めていきたいと考えています。②現在の展示内容や製品カタログなど町内企業側からの提供を募り見直していきたいと考えています。③国道敷地への看板の設置は案内看板であっても国ではほとんど認めていないことや、T字路やカーブとなっており、観光マップの設置は危険で難しいと考えています。④観光売店の解体には費用もかかり、財源を見ながら検討

していきます。景観を良くするための伐採も地権者と相談しながら検討したいと思います。⑤経費がかかることが予想され考えていません。今後、スクラップアンドビルドを基本とし、団体や地域の方々が主体となるイベントの開催に移行していきたいと考えています。

「子どもが作る弁当の日」の実施を

【町長】 現段階では、町、教育委員会とも想定していません。ただ、家庭教育や親子関係の中で、例えば、朝夕や土日の日常生活の中で今回提案された効果を求める方法もあり、「地域に育ち、地域を育てる」人づくりにつながるものではないかと考えています。

町では現在、正しい生活リズムを身につけることこそ、子どもたちが健康やかに成長していくことにほかならないと思いますので今後とも全学校を通じ、各家庭に「早寝、早起き、朝ご飯」を提唱していきます。



森 晃 議員

安心して高齢者になれるまちづくり

参加型のまち・地域づくりを推進

【質問】 高齢社会が本格化し、対策や構想が盛んに論ぜられているが、町でも各種生涯学習講座等を実施、人づくりや地域づくりに貢献し活躍されています。一提案として、さらに拡大を図るため小学校統廃合で跡地の利活用につなげるため、町外や都市

部からの滞在者も受け入れられるなどの公県立型の仮称「高齢者大学」の設置はいかがですか。一般教養や政治、経済、観光、陶芸、絵画、盆栽、鍛金、文化や芸能など自らの生きがいで積極的な社会参加と健康づくりに大いに役立つと考えます。

【町長】 舟形町の高齢者には、趣味やスポーツなどの生きがい活動の他に、ボランティア活動などの社会参加型の活動を通じてのまちづくり・地域づくりの一員として、大きなパワーを発揮できる環境づくりを推進していきたいと思っております。

9月に早稲田大学で開催されたふるさと再生・行動する首長会議の設立総会に出席した際にも、ご質問のような話題になりました。「ますます高齢者が多くなるので、都会の高齢者を地方に呼びこみ、地域の活性化に結びつける。第2住民票を作り、一つを地方に置いて第二の人生を地方で過ごせるように二重地域の定住促進の法律を目指そう。」「第2住所地でも税金を払ってもらおう」ということで、今の地域主権に合致していると感じました。

【町長】 職員による政策提案制度の導入については、昨年、政策推進室で検討を重ね「舟形町職員提案制度実施要綱」を制定しています。また、職員から具体的な提案は数件しかありませんが、行政の向上に寄与する提案や、事務改善業務の効率化等について広く提案を募り、政策への反映や、行政効率の向上を図って行きたいと考えています。



将来のまちづくりを目差して

【質問】 地方分権で自主的な創意工夫が求められ、職員の能力開発が期待されています。町の将来を展望する職員による応募型の「政策提案制度」の実施は、

期待される職員の能力活用と人材確保

職員採用についてですが、議会から提出された職員採用に関する議決書を尊重し、平成23年度までは職員の採用は見合わせたいと思っております。



八鍬 太 議員

最上広域連携を問う

元気な最上を一日も早く



最上地域の特産物の販売拠点（ゆめりあ）

【質問】 「子育てするなら舟形町で」を合言葉に子育て支援や「福祉の町宣言」のもと、生活環境の充実に施策の中心に掲げ、町政運営を進める町にとって健全な財政の確立はもとより効率的で質の高い行政サービスを継続的に実施するには相当の改

革が必要と思われれます。個々の市町村で取り組むより規模を拡大し、広域連携による地域総合力の向上を進めることも一手段として重要でありま

【町長】 最上地域は「結い」に象徴される、思いやりにあふれた、人と人とのつながりや、ゆたかりとした時間の流れなど、豊かな資源を持っています。最上地域将来像検討会「最上地域の結び」の結びにある「今こそ、最上地域のあるべき

姿を描き、それを住民に示し理解を得ながら、適切な判断を行っていく必要がある」との結論に8市町村の首長は責任を持って対処していかねればならないと考えます。最上広域連携に対する町長の考えについて伺います。

携で行う事業の考え方を示しています。最上地方にも行政課題が山積みしていますが、一日も早く、「元気な最上」の将来像を示し、最上地域のあるべき姿を明確に描けるよう、8市町村で真剣に前向きに取り組んで行かなければならないことが、大きな課題だと思っております。

【町長】 最上地域は「結い」に象徴される、思いやりにあふれた、人と人とのつながりや、ゆたかりとした時間の流れなど、豊かな資源を持っています。最上地域将来像検討会第2部会の報告は、広域連携による地域総合力の向上を目指す取り組みです。今年に入り、広域連携事業について検討を開始しました。新庄・最上広域連携推進協議会を立ち

上げ、最上地方の共通課題であります「婚活」の推進事業に、民間の協力を得ながら取り組んでいきます。また、昨年から最上総合支庁長、部長さん方との意見交換会が開催され、連携で行う事業や県と協力してできる事業はないかということで、舟形町では次の事業を提案しました。

①農業に携わりたい都会の若い人を呼び込む移住推進事業で市町村協力し合って産業の振興を図る②町営バスの運行形態について、各市町村共同で路線を決めた方が良い③婚活④観光商品の開発⑤電気自動車の導入支援⑥公共施設のお互いの有効利用⑦ペレットストーブの推進拡大、ナラ枯れのリサイクルなど、県と市町村、あるいは横の連

総務振興常任委員会

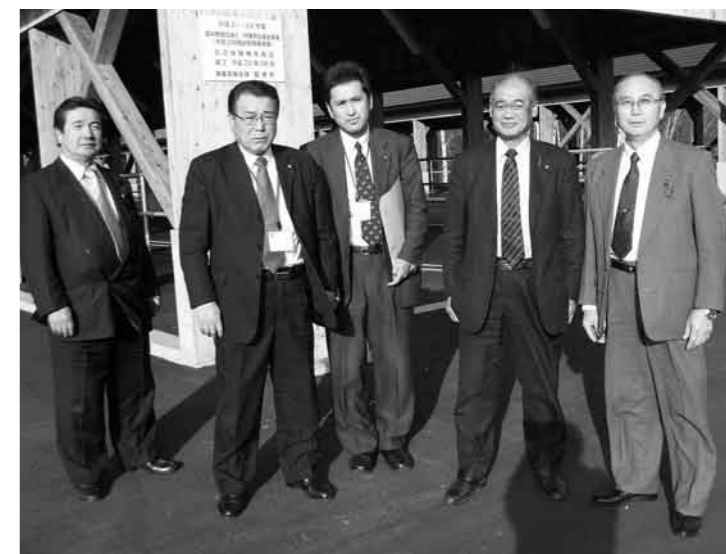
9月17日、共同選果による複合農業経営確立について、新庄もがみ農協東部選果センターアスパラガス共同選果場と新庄もがみ農協北部選果センターねぎ共同選果施設の視察を行った。

アスパラガス共同選果場内には、選果ライン・出荷ライン・予冷庫が整備され、販売額も3億円を突破し、今後も大きな成長を見込んでいる。

町ではネギの栽培に取り組んでいる生産者が増えており、来年度は10ヘクタール以上の作付が予定されている。農産物の品質の向上を図り、所得の確保を目的とするため、共同選果施設はぜひ必要である。施設の設置により、雇用の場が創出され、生産農家の意欲の向上や雇用の拡大にもつながる。町・生産者・農協が一体となった取り組みが必要である。



選果場視察 (JA新庄もがみ)



産業振興視察 (葛巻町)

11月24～25日、岩手県葛巻町の産業振興・エネルギー政策の現状について視察研修を行った。

葛巻町は、牛乳の生産量は日量120トンで東北一の規模を誇っており、第3セクター「葛巻町畜産開発公社」は、牧場、ホテル、ミルク・チーズ工場を営み、体験学習の受け入れなどアグリビジネスを展開し、地域の活性化を図り、雇用の場の創出と若者のUターンと定住を目指していた。

葛巻町の取り組みの姿勢や手法には学ぶべき点が多くあった。

文教民生常任委員会

11月24日、岩手県の社会福祉法人葛巻町社会福祉協議会の取り組みについて研修した。特徴的な事業は次のとおりである。

- ①男女の出会いの場提供事業「ゆいっあーく」
- ②ふれあいサロン「やすみっ」事業
- ③まじろ寄付について

冠婚葬祭の簡素化や見舞返し等の廃止等の運動がなされ、香典返しに代えて町の福祉事業に役立てるようになり寄付が広がっている。

高齢化や少子化が進み、福祉に対する住民の期待が増加する一方、町の財政が厳しい現状において、葛巻町の社会福祉協議会の取組みは今後の福祉事業の展開を図る上で示唆に与るものであった。



社会福祉協議会視察 (葛巻町)



旧舟形児童館視察

11月26日、「ほなみ増床に係る旧舟形児童館の配置課題」と「NPO法人の活動」について、所管事務調査を行った。

「ほなみ」の増床の計画に伴い、敷地の有効利用面から解体したい、解体しない場合の維持経費もかなり現段階での具体的な利用計画がないと説明を受けた。

「ほなみ」の増床計画は、老人福祉の推進のために必要なものと考えられる。現在児童館としては廃止になっているが、今後解体することにより利用者が不便をきたさないかなどを検討し、解体について判断されたい経過や結果については理解したが、多くの課題が残されているので「子育てするなら舟形町で」の実現のため、放課後児童クラブの今後のあり方を社会福祉法人「舟和会」への委託を含め、課題解決に向けて検討されたい。

☆シリーズ

一般質問のゆえ

(平成22年3月定例会)

質問

主要地方道大石田・畑線の本堀内、通称へんぐり地内の県道の改良事業の進展がまったくない。敏速な対応を。

答弁

幅員が狭いため県に対し早急の対応を要望しています。21年度事業の予定でしたが、手続等で22年度事業になるということになります。

現状

平成22年度の県事業として整備を行いました。今回の整備は、本堀地内の危険箇所、2カ所の道路改良となっております。整備前に比べある程度、安全が確保されましたが、要望している規格にはなっていませんので、今後とも県に要望していきます。

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。

新年明けましておめでとございます。まだまだ続く厳しい天候と不景気ですが、今年もよい年になります。今年もよい年になります。今年もよい年になります。

舟形町にも景気が良くなるように、働く場所を増やしてほしいです。小学校が統合になることになったことですが、学校の跡地にいろんな働く場所を考えてもらいたいです。

若者達が働ける場所があれば、もっと若者が増えるのではないのでしょうか。働く場所がないので、高校、大学を卒業後、地元に残る人がいなくなり、一人暮らしが増え、空き家も増えるでしょう。

もっともつとにぎやかな舟形町になるように、町長はじめ町議会議員の方々の活躍を期待してやみません。



斎藤 啓子さん (富田2)

山形県町村議会議員研修

(10月12日)

山形国際交流プラザで開催されました。
講師のNPO法人地方自立政策研究所理事長（元埼玉県議会議員・前志木市長）穂坂邦夫氏は、「財政環境の悪化と行政需要が増大し、国民負担増が限界にきている。議会がリードし、住民参加と政治主導による事業の選択と集中により地方から国を変える制度改革への取り組みが必要だ。」と語りました。
次に、政治評論家の有馬晴海氏が「これからの政局・政治展望」について、今後の政局をユーモアをまじえて語ってくださいました。



県町村議員研修（国際交流プラザ）



最上地方町村議員研修（鮭川村）

最上地方町村議会議員研修

(10月15日)

鮭川村エコプラザで開催され、葛巻町前町長の中村哲雄氏から、「電車もない、高速道路もない、スキー場も温泉もゴルフ場もない過疎が進行する葛巻町が、先人の懸命な努力により、東北一の酪農、日本の公共牧場、日本一のクリーンエネルギー、日本一の森林組合の町を構築した」取り組みをお聴きしました。



広報編集委員研修（丸森町）

議会広報編集特別委員会
11月17日、全国町村議会広報コンクールにおいて入賞されたことのある、宮城県丸森町議会を訪問しました。丸森町議会だよりの編集方法を学び、また町議会だよりのいろいろなアドバイスをいただきました。研修の成果を生かし、これからも親しみやすい紙面づくりに目指します。

請願・陳情

12月定例会で審査した請願・陳情は次のとおりです。

富士の経営破綻による債権者救済の意見書の提出を求める請願
採択
請願者 最上地区労働者福祉協議会
会長 和田 泰浩

後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める請願
継続審査
請願者 全日本年金者組合山形県本部
新庄支部長 小野 雅夫

高齢者の生活実態に見合う年金引き上げに関する意見書の提出を求める請願
継続審査
請願者 全日本年金者組合山形県本部
新庄支部長 小野 雅夫

最低保障年金制度の制定に関する意見書の提出を求める請願
継続審査
請願者 全日本年金者組合山形県本部
新庄支部長 小野 雅夫

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉参加反対に関する意見書の提出を求める請願
採択
請願者 新庄もがみ農業協同組合
代表理事組合長 安食 賢一

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加反対に関する意見書の提出を求める陳情
採択
陳情者 農民運動山形県連合会
会長 花鳥賊 義廣

意見書

今定例会において、議員発議として次の意見書を議決し、政府関係機関へ提出しました。

〇米価下落等に対する対策措置を求める意見書

1. 棚上げ備蓄について、今年度から前倒し実施すること。
2. 再生産可能な米価の安定を図るための施策を構築すること。
3. 主食用米の消費拡大に向けた対策及び新規需要米の利用拡大に向けた対策を実施すること。
4. 国民に安定した食料を供給するため、米の戸別所得補償を見直し、麦・大豆の生産促進や担い手対策など水田農業の構造改革に効果的な施策を講ずること。

今期採択の請願・陳情についての意見書を政府関係機関に提出しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



大場 一善氏
長沢1880番地1
(61歳)

任期は
平成23年2月23日より
平成26年2月22日まで

人権擁護委員の推薦に同意

八鍬 裕美氏（紫山）

任期は
平成23年4月1日より
平成26年3月31日まで



新シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。



えがったなあ



□どんなきっかけで彼（ご主人）と知り合いましたか？
職場で知り合いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？

最初は、鮎と雪が多い町と思っていましたが、生活してみると、ご近所の方々がとても優しくあたたかい町だなと思いました。

□舟形町での生活はどうですか？

近くにコンビニやスーパーが無いのが、ちょっと不便かなと思いました。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？

良いところは、周りの方々が優しく声をかけてくれること。悪いところは、今のところまだありません。

□舟形町に望むことはありますか？

昨年子どもが生まれましたが、近所に同級生がいないので、子どもを産み、育てやすい環境にしてほしいです。

舟形町に嫁いで来たお嫁さん、今回は戸沢村津谷から幅に嫁いで来た阿部利恵（旧姓山崎）さんです。皆さんよろしくお願ひします。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)

編集後記

明けましておめでとございませう。昨年は今までのない米価が9,000円まで下がり、農家経済が大きく揺れ、TPP問題や米・韓合同軍事演習が行われる朝鮮半島周辺は緊張した雰囲気にも包まれた年でもありました。

1月14日に発足した菅再改造内閣には、今後、「中小企業に光を・希望ある農政・一層の行政改革」に期待をし、今年こそ諸問題が前向きに進み、皆様にとってよい年になるように祈念申し上げます。

温暖化といわれながら、昨年の暮れから大雪が降り続いています。これから寒さが増し、体調を崩しやすい季節になります。お身体をご自愛ください。

(野尻 益夫記)

議会広報特別委員会

議長	信夫 正雄
委員長	叶内 富夫
副委員長	野尻 益夫
委員	大場 清之
	加藤 憲彦
	沼澤 正則